

2018年度 oniビジョン番組審議会議事録

1、日時 2019年3月27日 午前11時～午後1時

2、場所 岡山シティホテル厚生町

3、番組審議会委員

長門修二委員、西谷萬二委員、羽田浩委員、平田慎一委員、藤原靖子委員

4、oniビジョン

石井正人(代表取締役社長)、平松一泰(専務取締役兼放送部長)、富長一郎(執行役員統括本部長)、吉井健二(放送部副部長)、佐佐木真紀子(放送部課長)、見藤恭太郎(放送部課長補佐)那須沙弥果(放送部主任)

5、審議

「oniビジョンわいど」、「地域別ニュース」、「あつ晴れ！もも太郎体操」、スポーツ(高校野球チーム紹介、中継ダイジェスト、We are 岡山シーガルズ)

6、委員からの意見

「oniビジョンわいど」について

長門委員)地域の情報がよく分かる。今後も時間をかけて各地区の人を取り上げてほしい。学校園の取材が増えれば、親・祖父母世代の視聴にも繋がるのではないか。

西谷委員)「光南台＝イノシシ」というイメージだが他の話題も取り上げてほしい。普段視聴している人は身の回りに少ない印象だが、地域の一大イベント・松林寺子供会陽の番組には皆関心があるようだ。

羽田委員)スタジオの喋りとVTRなどの組み合わせで見やすい作りになっている。新たな情報キャッチにも努力が必要。

平田委員)撫川うちわの特集など、魅力あるコンテンツはもっと時間をかけて番組にしてはどうか。また「ぶかつ道」コーナーの出演校募集をしてはどうか。

藤原委員)小さな個人の活動なども番組で取り上げれば良いPRになる。子どもの取材も喜ばれると思うが、高齢者の活動も取り上げてほしい。

「地域別ニュース」について

長門委員)周囲に視聴者が多い。きめ細やかな取材にも好感を持っている。他地区に向けてのPR・話題発信にもなっており、今後も継続してほしい。

西谷委員)子どもを扱った話題は、自分の地域でなくても見たくなる。家族も視聴するのでは。

羽田委員)ニュースのある4地区以外も「地域」と捉えればもっと話題が拾えるのではないか。インタビューの際のマイクはoniビジョンのスタッフが持つべきだ。

平田委員)他の組織では頻繁に異動などがあるが、担当者と地域が仲良くなれるだけの時間を十分にかけて取材している点がいい。瀬戸の交通会議の話題では、内容をフォローするテロップや説明を出してほしい。資料用の画像や文字が小さく見えにくい。

藤原委員)自分が住んでいる地域のことも知らないことがあり、ニュースを通して分かっていい。周

困の人も喜んで視聴しているようだ。今後は地域の歴史紹介などもやってほしい。

「あっ晴れ！もも太郎体操」について

長門委員)地域のサロンでも体操を取り入れているところが多い。高齢者の生きがいにも繋がるのではないか。

西谷委員)放送を観て、こんな体操があると知った。いい取り組みだ。

羽田委員)今秋には岡山市でG20の会議がある。開催地での動きとして、岡山市と連携し何らかのアピールができるのではないか。

平田委員)小さい団体の取り組みも取り上げているところがいい。見ていて微笑ましい。

藤原委員)楽しくやっていることが伝わるいい映像。体操の普及にも繋がるのでは。

スポーツ(高校野球チーム紹介、中継ダイジェスト、We are 岡山シーガルズ)について

長門委員)強豪ではなく、地道に頑張っているチームが好きで昨夏の野球中継は興味深く視聴した。家でゆったり観れて良かった。実況にはもう少し迫力がほしい。

西谷委員)高校野球に興味がある人は多いので、チーム紹介などは喜ばれるのではないか。

羽田委員)高校野球の予選からの中継には価値がある。熱狂が伝わるよう、実況はもう少し弾けても良いのでは。

平田委員)チーム紹介は、エリアの全高校を取り上げているのが良い。シーガルズ番組は、岡山のプロスポーツ盛り上げにもなるのでは。

藤原委員)高校野球は県大会予選から中継してくれて良かった。準決勝や決勝には残らない地域のチームを応援できた。チーム紹介の構成も良い。